

基本政策シート

2025年度	(管理番号)			部局名
	分野	基本政策		市民部文化振興担当
	06	01	01	

分野	基本政策
文化・スポーツ	文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しむ機会、場の提供

将来の理想の姿(2044年)

創造都市を実現し、音楽の都やスポーツ文化都市として世界から注目されている。

10年後(2034年)の理想の姿

誰もが文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しみ、新たな文化が創出されている。
多様な文化、芸術、歴史の活動を担う人材が育ち、活躍している。

生活満足度に関する指標(分野指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
興味・関心事への取組	あなたは、興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか。	2.91	2.97				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

政策体系

政策番号		政策	事業名	担当課名
01	01	音楽創造都市の推進	音楽創造都市推進事業	創造都市・文化振興課
			浜松版アーツカウンシル事業	創造都市・文化振興課
			クリエイティブシティブースター事業	創造都市・文化振興課
02	01	音楽のあふれるまちづくり	浜松国際ピアノコンクール事業	創造都市・文化振興課
			浜松吹奏楽大会開催事業	創造都市・文化振興課
			浜松市文化顧問事業	創造都市・文化振興課
			さくま国際交流コンサート等開催事業	創造都市・文化振興課
			音楽文化都市交流事業(負担金)	創造都市・文化振興課
			まちなかコンサート開催事業	創造都市・文化振興課
			企業と共催する音楽事業	創造都市・文化振興課
			アクトシティオルガンミニコンサート開催事業(負担金)	創造都市・文化振興課
			文化芸術振興事業	創造都市・文化振興課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

政策番号		政策	事業名	担当課名
02	01	音楽のあふれるまちづくり	教育文化奨励事業	創造都市・文化振興課
			文化芸術部門発表会等出場者激励事業	創造都市・文化振興課
			アクトシティ音楽院事業	創造都市・文化振興課
			青少年音楽団体育成事業	創造都市・文化振興課
			こども音楽鑑賞教室開催事業	創造都市・文化振興課
			管楽器再生・活用事業	創造都市・文化振興課
			音楽のあふれるまちづくり発信事業	創造都市・文化振興課
			文化施設管理事業	創造都市・文化振興課
			地域創造支援事業(負担金)	創造都市・文化振興課
03	01	生涯学習社会の実現	講座等開催事業	創造都市・文化振興課
			学習成果活用事業	創造都市・文化振興課
			子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業(負担金)	創造都市・文化振興課
			生涯学習施設運営事業	創造都市・文化振興課
			学習等供用施設整備事業	創造都市・文化振興課
04	01	地域総がかりによる文化財の保存・継承と活用	文化財調査顕彰事業	文化財課
			文化財保護事業	文化財課
			文化財保存費助成事業(補助金)	文化財課
			文化財施設公開事業	文化財課
			アカウミガメ保護事業	文化財課
			無形民俗文化財活性化事業	文化財課
			史跡等整備活用事業	文化財課
			文化財サポーター事業	文化財課
			埋蔵文化財発掘調査補助事業	文化財課
			埋蔵文化財発掘調査単独事業	文化財課
			埋蔵文化財本発掘事業	文化財課
			出土品等地域遺産活用事業	文化財課
			地域遺産センター維持管理事業	文化財課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

政策番号		政策	事業名	担当課名
05	01	多くの人が歴史に接する機会の創出	博物館運営事業	博物館
			遺跡公園運営事業	博物館
			常設展・テーマ展開催事業	博物館
			特別展開催事業	博物館
			講座・体験館等開催事業	博物館
			おでかけミュージアム開催事業	博物館
			資料調査収集事業	博物館
			電子データ作成公開事業	博物館
06	01	市民に愛される美術館	維持管理事業	美術館
			資料収集保存事業	美術館
			平常展覧会開催事業	美術館
			企画・特別展覧会開催事業	美術館
			秋野不矩美術館管理運営事業	美術館
07	01	知の拠点としての図書館機能の拡充	図書館管理運営事業	中央図書館
			図書館指定管理運営事業	中央図書館
			図書館サービスシステム維持管理事業	中央図書館
			資料収集事業	中央図書館
			電子図書館事業	中央図書館
			調べ学習応援事業	中央図書館
			図書館サービス事業	中央図書館
			ブックスタート事業	中央図書館
			施設整備事業	中央図書館
08	01	専門職の人材育成	学芸員資格所有者の知識・技能向上	文化財課
08	02	専門職の人材育成	博物館運営事業	博物館
08	03	専門職の人材育成	学芸員講座事業	美術館
08	04	専門職の人材育成	図書館管理運営事業	中央図書館

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

2025年度の取組の方向性

- ・音楽創造都市・浜松を推進するため、多様なジャンルの音楽文化を取り込んだ事業を展開し、新たに音楽・文化活動を始める人材、世界で活躍する音楽・文化人材の育成を進めます。様々な文化芸術活動を行う場や発表の場を整備、提供し、文化・芸術を軸としたクリエイティブな活動を行う団体、個人の活動や自立に向けた支援を実施します。
- ・いつでも、どこでも、誰でも学べる環境づくりと学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくりを推進するため、学習の情報や機会の充実、学習環境の向上、担い手の育成に取り組めます。講座においては、質の向上と内容の充実を図り、地域や大学等との連携によりニーズに合った満足度の高い生涯学習講座を開催します。
- ・文化財保護法や浜松市文化財保護条例及び浜松市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の保存と活用に係る取り組みを進めます。歴史・文化・自然に関心が向けられる機運を高めることで文化財の保全を万全にし、地域総がかりで後世につなぐ仕組みづくりを進めるとともに、適切な保存と活用のために、継続的な研修により職員の知識と技能が向上を図ります。
- ・博物館資料の適切な収集・管理・活用に努め、台帳のデジタル化を推進するとともに、地域の歴史や文化についての調査研究を進め、展示、講座、体験学習等の開催により、市民が博物館で学ぶ機会を提供します。市民の博物館活動への参画を推進し、地域や学校等との連携を図るとともに、博物館や蛸塚遺跡、伊場遺跡の魅力を高めます。
- ・時代のニーズに合った魅力ある企画を行い、来館することへの期待や楽しみを持てるような展覧会を開催するとともに、美術館の新たな魅力の創出を推進し、館蔵品の展示、調査研究を継続して行うことで、文化や時代のつながりとなる新たな視点を示します。学校教育の場において芸術に触れる機会を提供し、次世代のリピーターとなる環境づくりを図るとともに公募展を継続して行い、学校や地域等との連携を図ります。
- ・浜松市図書館ビジョンに基づく、多様な資料の収集・貸出、レファレンスサービス事業などによる地の拠点としての図書館機能の充実を図るため、デジタル及び自動車文庫の活用などによる資料や情報にアクセスしやすい環境づくりを進めます。また、図書及び郷土資料に関する知識を有する地域の文化を支えていくために必要な専門人材の育成を進めます。

【2025年度の評価】

2025年度の基本政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

- ・2025年度は、音楽のあふれるまちづくり発信事業によるアウトリーチ事業の拡大により、音楽文化の裾野拡大を実現することができた。
2026年度以降の方向性は、既存事業を継続し、音楽文化の振興と音楽人材の育成を図る。また、アクティシティ浜松の大規模修繕工事では、コスト管理を徹底した上で、計画的に工事を進めていく。アクティシティ浜松の休館中は、市内他施設の活用やアウトリーチ事業の更なる拡大により、音楽文化活動が停滞することのないような取り組みを行う。さらに、市民・企業との連携を深め、SNS活用を行い、広報の一層の充実を図り、年間を通じた音楽文化発信体制を整備し、音楽のあふれるまちづくりを持続的に推進する。
- ・講座等開催事業の参加者数は目標値を概ね達成できた。一方、学習成果活用事業は講座数が増加しているが、参加者数が減少している。
2026年度以降、学習成果活用事業については、講座開催の応募条件を緩和し、既存講師の再活動を促進することで、講座開催数の増加を図るとともに、SNS等を活用し、若い世代の新たな生涯学習講師人材の発掘に努める。
- ・文化財保護法や浜松市文化財保護条例及び浜松市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の保存と活用に係る取り組みを進めた。歴史・文化・自然に関心が向けられる機運を高めることで文化財の保全を万全にし、地域総がかりで後世につなぐ仕組みづくりを進めるとともに、適切な保存と活用のために、継続的な研修により職員の知識と技能の向上を図った。引き続き、高根城復元施設二の曲輪等の文化財修繕やアカウミガメの保護柵設置など文化財の保存と活用に係る取り組みや、文化財サポーター事業など地域総がかりで後世につなぐ仕組みづくりを進めるほか、本市内外で開催される研修に参加し、職員の知識と技能の向上を図る。
- ・博物館資料台帳のデジタル化や調査研究を進め、展示・講座・体験学習を通じて市民への学習機会の提供を推進した。市民ボランティア参画の拡大と学校連携の強化により、博物館の地域における認知度向上につながった。引き続き、資料台帳のデジタル化を推進し、調査研究成果を多角的に展開するとともに、博物館、蛸塚遺跡及び伊場遺跡の活用を強化し、市民の学習及び文化観光の拠点としての博物館機能を充実させる。
- ・美術館では、2025年度は特別展「躍動するアジア陶磁」、企画展「大ガラス絵展」の2つの展覧会や市民参加の「市展」を開催したほか、学芸員によるギャラリートーク、専門家の講演会、子供から大人まで楽しめるワークショップや対話型鑑賞会などを開催し、市民が文化芸術に触れ、新たな気づきや学びを深める機会を提供した。また、小中学生向けの講座や教員向け研修などの学校連携を強化するとともに、地域へ出向いての学芸員講座を実施した。2026年度以降も、市民が楽しみや期待を持てる展覧会などの開催により美術館の新たな魅力を創出する。また、館蔵品を適切に管理し、調査・研究を継続して進める一方、学校や地域との連携をさらに強化して文化芸術の教育普及を推進する。
- ・浜松市図書館ビジョンに基づく、多様な資料の収集・貸出、レファレンスサービス事業などによる地の拠点としての図書館機能の充実を図るため、デジタル及び自動車文庫の活用などによる資料や情報にアクセスしやすい環境づくりを進めた。また、図書及び郷土資料に関する知識を有する地域の文化を支えていくために必要な専門人材の育成を進めた。